

The mouse and the lion

One day a lion was taking a nap.

ある日、ライオンが昼寝をしていました。

And there came a mouse, went up the lion's back.

すると、ネズミがやって来て、ライオンの背中に登っていきました。

He noticed, caught it, and tried to eat it.

彼はそれに気づき、捕まえて食べようと思いました。

“Oh please, I'm too little to taste,” said the mouse, “If you help me, I will return to your kindness.”

「お願いです、私は小さすぎて味がわかりません。助けてくれたら、親切に返しますよ。」とねずみは言いました。

The mouse was begging for his life.

ネズミは命乞いをしていました。

The lion was in silence for a while.

ライオンはしばらく沈黙していました。

But then he felt pity for the mouse and let him escape

しかし、その後、彼はネズミが可哀想になり、逃がしてしまいました。

A few days later, the lion had caught by a hunter.

数日後、ライオンは猟師に捕獲されました。

He was bound by the rope and couldn't run.

彼はロープに縛られ、走ることができませんでした。

“Oh, my life is over,” said the lion sadly.

「ああ、私の人生は終わった」とライオンは悲しそうに言いました。

Then the mouse came out of nowhere and gnawed the rope with his sharp teeth, saving the lion's life.

するとどこからともなくネズミが現れ、鋭い歯でロープをかじってライオンの命を救いました。

“Thank you for saving me.” said the lion happily.

「私を救ってくれてありがとう。」ライオンは嬉しそうに言いました。

And they lived together ever after.

そして彼らはその後ずっと一緒に暮らしました。

Even the strong one has a moment to be saved by the weak one.

強い者でも弱い者に救われる瞬間がある。